

2013年6月7日（金）

Important disclosures
and disclaimers appear
at the back of this
document.

企業調査レポート

■海外と感染管理事業が成長ドライバー

同社は「正露丸」「セイロガン糖衣A」を中心とする医薬品事業と、空間除菌剤「クレベリン」シリーズを中心とした感染管理事業を手がけている。キャッシュ・カウである医薬品事業を背景に、感染管理事業の着実な浸透を図っている。

主力事業である医薬品事業では、「正露丸」「セイロガン糖衣A」は強力なブランド力を背景に、成熟市場と見られる国内止瀉薬市場において、安定して過半を超えるシェアをキープしている。また、当該事業では海外、特に中国を成長ドライバーとする考え。領土問題を巡って日中関係が悪化している状況でも影響はほとんど出ていない。

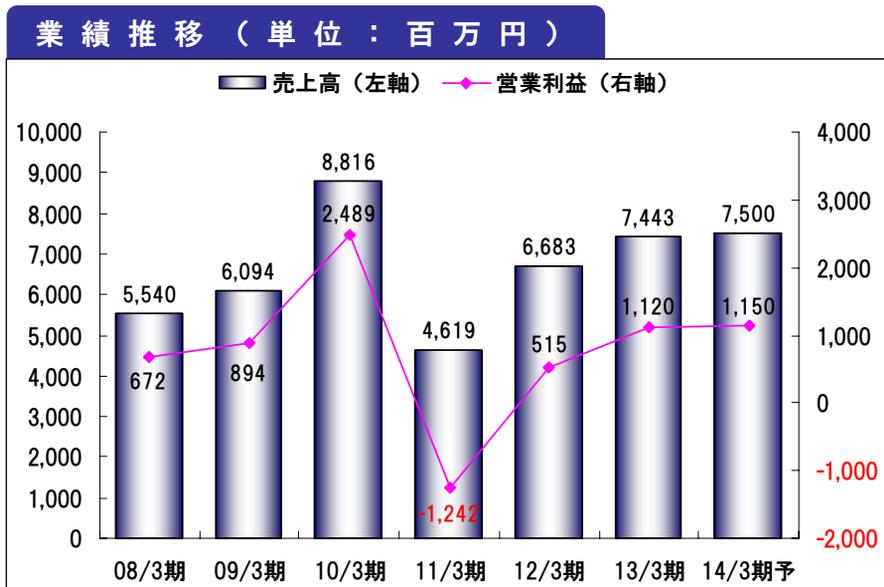
成長分野である感染管理事業において、空間除菌剤「クレベリン」が一般用のみならず、業務用としても着実に浸透し始めている。現状、感染症の流行などで業績が振れる傾向は否めないが、業務用が増加することによる安定感に加え、認知度の向上で着実な成長を目指す。

業績は順調。2013年3月期は売上高が前期比11.4%増の7,443百万円、営業利益が同117.7%増の1,120百万円となった。セグメント別では医薬品事業の売上高が海外マーケットこそ伸張したものの、国内マーケットの停滞で前期比0.7%減収の5,049百万円。営業施策の強化や感染症の流行などを背景に、感染管理事業の売上高は同50.6%増の2,374百万円となっている。

2014年3月期は売上高で前期比0.8%増の7,500百万円、営業利益で同2.7%増の1,150百万円が見込まれている。医薬品事業では国内の減少を海外でカバーし、感染管理事業では感染症の流行がなくても前年水準以上を堅持する予想となっている。底堅いという点に異論はなく、海外、感染管理事業の動向によっては上振れの可能性がある。想定為替レートは1ドル90円と保守的である。

■Check Point

- ・ 正露丸およびセイロガン糖衣Aの中国売上拡大が顕著
- ・ 感染管理事業は業務用の比率が高まり安定感も
- ・ 今期は海外、感染管理事業の動向によっては上振れも



正露丸およびセイロガン糖衣Aの中国売上拡大が顕著

医薬品事業は正露丸、セイロガン糖衣A、その他の製品で構成されている。国内の2013年3月期売上高は前期比5.0%減の4,020百万円となった。内訳は正露丸が同7.6%減の1,761百万円、セイロガン糖衣Aが同3.7%減の2,052百万円、その他が7.0%増の205百万円である。この結果、店頭小売価格ベースの国内止瀉薬シェアは、同1.3pt減の51.2%となった。

シェアは安定して高い水準を維持している。正露丸およびセイロガン糖衣Aの主成分である日本薬局方木(もく)クレオソートには、大腸の過剰なぜん動運動を正常化する作用と、腸管内の水分を調整する作用とがあり、1日3回正しく服用することでその効果が持続する。この点をアピールすることと、若者を意識したマーケティング手法も活用し、シェアの更なる拡大を図る方針だ。

海外市場の売上高は前期比20.4%増の1,028百万円となった。内訳は中国・香港が前期比21.0%増の882百万円、台湾が同0.3%増の119百万円、その他が同364.3%増の26百万円である。同社では代理店を通じ、中国沿岸部を中心とした拡販に注力しており、正露丸に加えてセイロガン糖衣Aも投入済み。医薬品事業においては、中国が成長ドライバーとなりそうだ。

「正露丸」

「セイロガン糖衣A」



感染管理事業は業務用の比率が高まり安定感も

感染管理事業では、空間除菌剤「クレベリン」シリーズの製造・販売を手がけている。当該セグメントの2013年3月期売上高は前期比50.6%増の2,374百万円となった。内訳は液剤が同108.3%増の279百万円、ゲル剤が40.8%増の1,894百万円、クレベリン発生機が同124.7%増の200百万円である。

ノロウイルスやインフルエンザなどの感染症の流行が需要喚起につながったことも一因として考えられるが、営業施策によるところも大きい。業務用では大規模空間で使用するクレベリン発生機（リスパスシリーズ、AQC）に加え、カーディーラー、カーサービスなどのサービスメニューとして提供している車両用のクレベリンなども加わって、売上構成比が前期比5pt増の27%に増加。業務用の比率が増すことで、売上高の安定感も増してこよう。一般向けではドラッグストアのみならず大手調剤薬局への配荷を進めており、調剤薬局では、薬局内の空間除菌と患者の家庭での衛生対策品として販売を行っている。認知度は35%前後であり、販売チャネルの拡大、積極的なプロモーションを続けることで当該数値の上昇を見込める状況にある。

このように同社では正露丸およびセイロガン糖衣Aによる安定的な国内売上高を背景に、中国を中心とした海外市場、感染管理事業の積み増しによる成長が期待される。

「クレベリン ゲル」



「クレベリン スプレー」 「クレベリン マイスティック」



「車両用クレベリン」



「クレベリン発生機 リスパスNEO」



ディスクレマー（免責条項）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性や、本レポートに記載された企業の発行する有価証券の価値を保証または承認するものではありません。本レポートは目的のいかんを問わず、投資者の判断と責任において使用されるようお願い致します。本レポートを使用した結果について、フィスコはいかなる責任を負うものではありません。また、本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業との電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受けていますが、本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。本レポートに記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ